

II 家庭や地域における子育てを支援します

1. 家庭における子育て支援

【1】子育て情報の提供と相談窓口の充実

No.	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課	
62	家庭児童相談室	就学前から就学後の切れ目ない対応、相談種別全般への対応が行えるよう、必要に応じ迅速に関係機関と連携を図りながら相談・支援を行います。また相談員の資質向上に努めるなど相談体制の充実を図ります。	関係機関との連携を図り、庁内外との調整を迅速に行った。また、これまで通り、きめ細かく丁寧に、妊娠から就学前・就学後の切れ目ない対応を行ない、支援が必要な家庭の早期発見・早期支援に努めた。	継続 児童を妊娠している時期から、就学前・就学後まで切れ目ない支援を行えるよう関係機関と連携を図りながら、相談・支援を行う。また、子どものみでなく、家族全体を支援し迅速に対応できるよう、研修等により相談員の資質向上に努める。令和5年4月から加わったDV、ヤングケアラー支援事業についても、きめ細かく丁寧に対応できるよう、各機関と調整を行う。	件	354	312	280	子ども相談課	
					件	357	383	334		
					件	8	9	6		
					件	2	2	5		
					件	18	31	17		
					件	2	12	12		
					件	0	1	2		
					件	9	5	9		
					件	3	8	22		
					件	753	763	687		
63	地域子育て支援拠点事業	子育て支援センターでは、親子教室、出前保育、育児サークルの育児支援、子育て学習会、子育てに関する相談を実施します。また、つどいのひろばを通して親子の交流の場を提供します。	本市の生活圏域における3地区(浜手、中央、山手)及び利便性の高い南海貝塚駅前計4か所に設置している支援拠点で、つどいの広場を通じた交流の場の提供、相談等を実施した。	継続 多様化する子育てに関するニーズに対応できるよう、今後も本事業を推進していく。	市立子育て支援センター 育児相談 延べ相談件数 栄養相談 延べ相談件数	件	119	196	149	子育て支援課
					件	41	196	94		
					市立子育て支援センター	人	4,725	5,353	4,051	
					社会福祉協議会	人	4,840	4,237	3,975	
					貝塚南こども園子育て支援センター	人	196	1,028	1,399	
					つどいの広場 つげさん広場(NPO法人えーる)	人	1,951	2,680	2,300	
64	家庭支援推進保育事業	家庭環境に支援を要する園児及び在宅児童への家庭訪問・育児相談などを行い、保育の専門性を生かした支援を行います。	市内3施設(認定こども園2園、保育所1園)に家庭支援担当職員を配置し地域支援に努めるとともに、公民各園で在宅支援に努めた。	継続 家庭支援担当職員を配置し地域支援に努めるとともに、公民各園で在宅支援に努めていく。	実施園数	園	3	3	3	子育て支援課
										各公民館
65	子育て情報の発信	市の子育て支援サービスをホームページに掲載し、公民館や子育て支援センター、その他子育てに関わる地域の機関との協働で「子育てナビゲーション」を発行します。また、市内公園、各施設の地図や、子育て支援事業などを記載した「子育てガイドブック」を発行します。	子育て支援に関わる地域の機関と協働で、子育てナビゲーションを年4回発行した。左記のとおり令和4年度子育てガイドブックを発行し、幼児教育・保育施設や関係施設に配付した。	継続 子育ての助けになるような内容を充実させていく。	子育てナビゲーション 発行部数 子育てガイドブック 配付施設数 発行部数	部 件 部	3,000部×4回 36 2,000	3,000部×4回 36 2,000	3,000部×4回 36 2,000	子育て支援課
66	すくすく子育て応援隊	地域の子育て家庭において、子どもの養育に関する保護者からの相談に応じ、訪問等により必要な情報提供及び助言等を行います。	各公立認定こども園の園庭開放や市内の商業施設、公園などの場で、保育教諭が「すくすく子育て応援隊」として、子育てで不安の解消を図るための相談業務を実施し、必要に応じて個別訪問による相談も行った。コロナ禍においては、電話での相談や、手紙のポストインなどで対応するなど工夫しながら活動を継続した。	継続 子育て等の相談ができる場として広く周知され、状況に応じた、より安心して相談しやすい環境を作るとともに、保育教諭としての経験を活かしたアドバイスや情報を提供していく。	相談者数	人	973	1698	2152	子育て支援課

67	赤ちゃんルーム まめっ子ルーム かばさんルーム 子育てサロン すくすくサロン	0歳児及び多胎児(就園前)を持つ親・妊婦に保育室を開放し、居場所の提供を行います。	感染症対策として参加人数の制限等を行いながら、親子の居場所を提供。スタッフは子育てネットワークに依頼し運営協力を得た。(中央)3年度に引き続き休止(山手)親子で安心して過ごせる居場所・他の親子と交流できる場となっている。近年は参加者数が減ってきており交流という面では不十分。(浜手)	継続	乳幼児をもつ保護者の交流や子育てサークルへつなげるきっかけとなるよう働きかけをし、参加者を増やしていく。 (中央) 3年、4年度の実績より事業を見直し予定。(山手)転勤による入れ替わりも多地域でもあり、広報にも努めながら気軽に立ち寄ることができるよう考えていく(浜手)	中央公民館	赤ちゃんルーム(登録組数)	組	45	20	24	各公民館
						中央公民館	まめっ子ルーム(実施回数)	回	5	4	12	
						山手公民館	まめっ子ルーム(参加延べ人数)	人	30	55	148	
						山手公民館	かばさんルーム(実施回数)	回	34	0	0	
						山手公民館	かばさんルーム(参加延べ人数)	人	106	0	0	
						浜手公民館	子育てサロン(実施回数)	回	7	43	43	
						浜手公民館	子育てサロン(参加延べ人数)	人	25	260	427	

68	教育相談	相談員による子育て教育相談を行い、子育て・学校生活の悩みに対応します。	不登校や学校生活、親子関係などの保護者の悩みに応えることに努めた。	継続	引き続き、保護者・子どもの悩みや相談に応じ、支援していく。	延べ相談件数	件	122	117	186	青少年人権教育交流館
						相談者数	人	18	21	36	

69	進路選択支援相談	個別相談や出張相談会を通じて、奨学金制度や貸付制度についての相談に応じます	個別相談や出張相談会を通じて、奨学金制度や貸付制度についての相談に応じた。	継続	引き続き、個別相談や出張相談会を通じて、奨学金制度や貸付制度についての相談に応じる。	延べ相談件数	件	14	13	14	青少年人権教育交流館
----	----------	---------------------------------------	---------------------------------------	----	--	--------	---	----	----	----	------------

【2】家庭の教育力の向上

No.	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課		
70	ブックスタート		民生・児童委員が新生児家庭を訪問し絵本を配布した。絵本を通じ、親子が時間を共有することができた。	継続	絵本の配布と共に、引き続き、4か月児健診時に図書館司書がブックスタートの趣旨説明を行っている。					図書館	
			こんには赤ちゃん事業を通して、4か月までの乳児がいる家庭に絵本を配布した。絵本により、親子の触れ合いの時間をつくるきっかけとなった。	継続	引き続き、こんには赤ちゃん事業を通して、絵本を配布していく。						健康推進課
71	えほんファーストステップ	4か月児健診時に司書による「あかちゃん絵本」の紹介と読み聞かせを行い、赤ちゃんとともに絵本を楽しんでもらえるよう啓発します。	絵本の配布と共に、4か月児健診時に図書館司書がブックスタートの趣旨説明を行う。	継続	引き続き、親子や家族で時間を共有しながら絵本を楽しむよう啓発していく。					図書館	
72	子育て講座(保育つき)	保育つき講座「おや教室」など、親に対して、様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供します。また、学習内容の見直しや親同士の交流などが図られるよう講座の内容を充実します。	開催時期や学習内容を三館で調整しながら開催。子育ての不安解消、悩みの共有ができる場として保育付きで実施。組織な子どもHSCについて、三館どこでも受講できるよう配慮。受講者同士の話し合いを通じて交流が深まっている。	継続	開催時期や学習内容を三館で調整しながら講座を開催し、親同士、親とボランティアの交流も図っていく。	開催回数	回	18(3館6回ずつ)	19	22	各公民館
			講演会を通して、子育て支援や保護者の教育力の向上に向けて取り組んだ。	継続	今後も保護者のニーズや要望に応えることができる学習機会の提供する。	開催回数	回	1	1	2	青少年人権教育交流館
			コロナ禍のため参加人数を縮小したが、複数回開催することにより多くの人が参加してもらうことが出来た。	継続	子育て学習会の内容などを見直し、開催していく。	開催回数	回	5	8	24	子育て支援センター
73	家庭教育学級	子どもたちの豊かな心を育み、健やかな成長を願う親たちの自主的な学習活動の場として、全小学校に開設している家庭教育学級の充実に努めます。	・新旧引き継ぎ会及び年に3回の連絡会を開催した。 ・合同研修会を実施し、子育てについての学習の場を設けた。 ・学級広報誌「ひろば」を年2回発行し周知した。	継続	仕事をしている人が増加したため、学級生が減少し学級運営が困難になってきている。引き続き、案内やひろばを配付し、家庭教育学級の周知をしていく。	実施延べ回数	校	11	11	11	社会教育課
74	「かいづか家族の日」事業	毎年11月第3日曜の「かいづか家族の日」を中心として、家族や家庭をとりまく地域の大切さについて理解を深め、子育てを応援する取組みを進めます。	・家族に関する作品コンクールを行い、11月第3日曜に表彰式を開催した。 ・受賞作品を協賛企業などに巡回展示した。 ・かいづか家族の日の啓発につながるよう、年賀はがきを市内小学校全児童と保育園・幼稚園の5歳児に配布した。	継続	引き続き作品コンクール等の事業を実施するとともに、家族の日に関連する事業が全庁的な取組みとして実施されるよう進める。	応募作品数	作品	177	549	407	社会教育課

【3】男性の子育て参加の促進

No.	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課		
75	ママパパ教室(No.2拡充)	沐浴体験やパパの妊婦体験、先輩ママや乳児との交流を通じて、子どもが生まれる前から女性が育まれるよう支援します。また、開催日時等を工夫し、父親の参加が促進されるよう取り組みます。	先輩ママとの交流会が実施できたのは1クールのみだったが、沐浴や妊婦体験は感染症対策を行いながら全クール実施した。ママとパパのグループに分け、妊娠中や出産時、産後にパパとしてできることなどを助産師から助言してもらった。	継続	感染症の流行状況をみながら、必要な感染予防対策を踏まえて、先輩ママや先輩パパとの交流ができるよう調整する。	No2にあり				健康推進課	
76	男女共同参画意識の普及	男女がともに家事や育児に参加し、仕事と家庭の調和を実現するために、啓発誌の発行や、フォーラムを開催し、男女共同参画の意識の普及を図ります。また市内の企業や団体等に男女共同参画に関する情報提供を行うとともに、小・中学校では男女共生教育の充実を図ります。	10年計画である貝塚市男女共同参画計画(第4期)コスモプランを令和4年度末に改定した。様々な媒体を通じ、男女がその性別に関わりなく活躍できる男女共同参画社会の実現に向け、市民の意識啓発に努めた。フォーラムは、10月、2月と2回開催し、内容も参加型の形態を取り入れる等の工夫をした。	継続	今後も、新しい計画に基づき、ワーク・ライフ・バランスの実現や、固定的性別役割分担意識の解消など、男女共同参画を推進する広報・啓発に取り組む。	啓発誌の発送部数	部	32,500	32,000	31,000	人権政策課
			男女共生教育の充実を図るために人権教育担当者会等の機会に情報提供を行った。各校の取組みに向けて、情報提供や研修会を図った。	継続	ジェンダー平等教育推進委員会と連携し、各学校への取組みの充実に向けて、情報提供や研修会を実施していく。	フォーラム参加人数	人	15	39	47	学校教育課
77	父親の子育て交流の場づくり	父子のふれあい遊び・手作りおもちゃなどを通じて父親の子育てで参加・交流を図ります。	親子で楽しめるコンサートや人形劇、カップケーキ作りを開催し、父親の参加もあつた。(山手)子どもとのふれあいを中心に工作・水遊び・平打ちや絵本の読み聞かせなどで父親が気軽に子育てに参加できるよう支援している。(浜手)	継続	父親と子どもだけではなく家族参加の内容も含め、形態や内容を工夫しより幅広い層が参加できるように考慮する。	開催回数	回	14(山10回、浜4回)	8(山1、浜7)	12(山5、浜7)	浜手地区公民館 山手地区公民館
						参加親子数(延べ)	人	86(山46回、浜40回)	96(山42、浜54)	417(山363、浜54)	

【4】子育て家庭の経済的負担の軽減

No.	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課	
78	幼児教育・保育の無償化制度の適切な運用	令和元年(2019年)10月から始まった幼児教育・保育の無償化の実施にあたっては、教育・保育の質の維持・向上が図られるよう施設と連携し適切に運用します。	各施設と連携し、制度の円滑な運用に努めた。	継続 引き続き各施設との連携のもと、制度の適切な運用に努める。					子育て支援課	
79	実費徴収に係る補足給付費交付事業	新制度未移行幼稚園に通う子どもの世帯で、低所得世帯及び第3子以降の子どもがいる世帯に、副食費の実費徴収分の一部を補助します。	新制度未移行幼稚園と連携し、対象世帯に副食費の一部を補助した。	継続 対象世帯への経済的支援として、本補助事業を継続する。	交付人数	人	31	18	18	子育て支援課
80	利用者負担額の軽減	保護者負担に配慮した適正な保育料設定を行います。	適正な保育料設定のもと徴収を行った。	継続 今後も、適切な保護者負担を配慮した保育料の設定を検証していく。					子育て支援課	
81	就学援助事業	経済的理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対し、義務教育を円滑に受けることができるように就学に要する経費の一部を支給します。	就学に係る費用に関する不安を取り除き、誰もが安心して義務教育を受けることができるよう努めた。	継続 今後も、誰もが安心して義務教育を受けることができるように、就学援助を継続する。	支給人数	人	1,440	1,427	1,385	学校教育課
82	児童手当	中学校修了前の児童を養育している世帯に支給します。	中学校修了前の児童を養育している世帯に支給した。児童手当法の改正による、現況届の原則廃止と、所得制限限度額、所得上限限度額の適用について対応し、周知を行った。	継続 児童手当に関する国の制度改正等の動向を注視しながら、受給者に対し適切な周知や案内をする。	支給延べ児童数	人	126,189	120,227	113,470	子ども福祉課
83	児童扶養手当	父母の婚姻の解消などにより父または母と生計を異にしているか、父または母に重度の障害があり18歳未満の児童等を養育している父または母や養育者に対して、手当てを支給します。	離婚前・離婚後相談や障害者手帳取得時など、個別に相談を受け、児童扶養手当について説明を行った。また、ホームページ等でも周知を行った。	継続 現況届の際に、個別に面談する機会を活かし、ひとり親世帯に役立つ情報提供を行う。	受給者数(3月末時点)	件	808	795	769	子ども福祉課
84	子ども医療の助成 (No.21再掲)								子ども福祉課	
85	ひとり親家庭医療の助成	ひとり親家庭が、必要な医療を受けられるよう医療費の一部を助成します。	生活保護法による被保護者のうち、保護を停止されている者について、令和5年度から医療費の助成を行うため、条例改正を行った。	継続 ひとり親家庭の父母等とその児童が、必要な医療を受けられるよう、制度の周知に努める。	助成延べ件数	件	21,999	24,019	25,036	子ども福祉課
86	大阪府母子・父子寡婦福祉資金貸付制度	ひとり親家庭や寡婦の経済的自立を援助するための資金貸付を受け付けます。	成年年齢引き下げ等による母子・父子・寡婦福祉資金貸付制度の改正に対応し、申請者が混乱しないように必要書類等の案内を行った。	継続 複雑になっている修学支援新制度との調整について丁寧に説明し、就学支度資金や修学資金等の貸付を行う。	貸付件数	件	12	6	3	子ども福祉課
87	重度障害者医療の助成	重度の障害児(者)に対し、医療費の一部を助成します。(子ども医療の助成対象者を除く)	重度の障害児(者)に対し、医療費の一部を助成することで、障害児(者)の経済的負担を軽減することができた。	継続 今後も対象者へ制度の案内及び医療費助成を行う。	助成延べ件数	件	44,547	44,670	44,224	障害福祉課
88	障害児福祉手当	20歳未満であって、重度の障害があるため、日常生活において常時特別の介護が必要な障害児に支給します。	20歳未満であって、重度の障害があるため、日常生活において常時特別の介護が必要な障害児に手当を支給することで、障害児の経済的負担を軽減することができた。	継続 今後も対象者へ制度の案内及び手当の支給を行う。	支給延べ児童数	世帯	519	540	537	障害福祉課
89	特別児童扶養手当	重度または中度の障害がある20歳未満の方を養育している人に支給します。	重度または中度の障害がある20歳未満の児童を養育している人に、制度の案内や各種申請受付を行った。受給者が国から手当の支給を受けることで障害児の家庭の経済的負担を軽減することができた。	継続 今後も対象者へ制度の案内及び各種申請受付を行う。	受給者数(延べ)	世帯	230	249	274	障害福祉課
90	出産費用の助成	経済的に困窮する妊産婦を対象に出産費用の一部を助成します。	経済的に困窮する妊婦を対象に出産費用の助成を行った。妊婦の出産における経済的負担を軽減した。	継続 物価高騰の影響により困窮する世帯が増える見込まれるため、安心して出産できるよう制度周知を行い、利用を促す。	助成件数	件	8	12	7	子ども福祉課

2. 地域で支えあう子育ての推進

【1】子育てに対する市民の関心の喚起

№	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課	
91	市民への子育て意識の啓発	地域社会全体で子どもを育み、見守る環境の重要性について市民一人ひとりの理解や認識が深められるよう、様々な機会を通じて市民に対する広報、啓発を進めます。また、子どもたちが安心して活動できる地域づくりに取り組めます。	本市の区域内において学校、家庭及び地域が協働して行う豊かな人間関係づくりのための教育コミュニティ活動に対して、員環元気アップ事業補助金を交付し、地域ぐるみで子どもを育む教育環境を醸成した。	継続	コロナ禍で減少していたイベント数も増加傾向にある。補助金の効果的な活用を学校や地域に働きかけていく。	申請事業数	7	10	12	社会教育課
			廃止							
92	子ども作品展の開催	子どもポスターコンクールなどを通じて、次代を担う子どもの環境意識向上につながるための啓発活動や体験活動の充実を努めます。	子ども作品展、絵画コンクールについては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。これに代わる取組みとして、子どもたちへのメールを横断的に、地域内の施設に掲示した。	継続	実施方法を工夫するなど、今後も活動を継続させる。					地区福祉委員会 (社会福祉協議会)

【2】地域の支えあい・助けあいによる子育て支援の充実

№	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課		
93	ファミリー・サポート・センター事業	子育ての援助を受けたい人と協力したい人が会員となり、認定子ども園等への送迎、一時的な預かりなど相互協力活動を促進します。	社会福祉協議会への委託事業として実施し、地域の助け合いによる子育て支援に努めた。	継続	利用会員が子育て終了後、協力会員として登録し、相互に協力して運用できるよう努める。	利用会員数	人	412	417	405	子育て支援課
						協力会員数	人	192	198	200	
						両方会員数	人	30	30	27	
						合計会員数	人	634	645	632	
						一時預かり	人	55	184	312	
						利用内 容別 児童数	人	119	221	357	
合計	人	174	405	669							
94	民生委員・児童委員活動	こどもには赤ちゃん訪問を通じ、児童や子育てに関する身近な相談相手であることを周知するとともに、子育て世帯の孤立化を防ぎ、子育てを支える役割を果たせるよう、活動を推進します。	子育て世帯の孤立化を防ぐため、民生委員・児童委員が生後3か月の乳児がいる家庭を訪問し、子育てグッズを届けるとともに、身近な相談相手である民生委員・児童委員や行政の窓口を知ってもらう周知活動を行った。コロナ禍で訪問を拒まれるケースもあったが、身近な相談相手として、子育て世帯を支援した。	継続	子育て世帯の孤立化を防ぎ、家庭と地域をつなぐきっかけをつくることで子育てを支援するため、今後も訪問活動を継続する。また、身近な相談相手である民生委員・児童委員を知ってもらうためPR活動も引き続き行っていく。				福祉総務課		
95	地域コミュニティ支援	小学校区の子ども広場、中学校区の地域教育協議会(すこやかネット)及び、学校支援地域本部の取組みを支援します。	小学校区における子ども広場事業、中学校区における地域学校協働活動を支援するとともに、地域学校協働本部に対しては補助金を交付し、取組みの充実を図った。	継続	地域学校協働活動推進員の委嘱に向けて、社会教育課に情報提供する等の支援を行う。				学校教育課		
96	出前事業	まちのすぐれものの登録者を活用した出前講座や、地域の町会館・公共施設に出向いて相談に応じる出前保育など、地域のニーズに応じた出前事業を開催し、子育て支援や世代間交流を促進します。	コロナ禍の影響により、地域の町会館等に出向く出前講座を実施できなかった。	継続	地域のニーズも聞き取りながら、積極的に情報提供を行い、地域での子育てしやすい環境づくりを進める。	開催回数	回	5	0	0	各公民館
			参加親子数(延べ)	人	46	0	0				
			開催回数	回	0	0	0	子育て支援センター			
			参加親子数(延べ)	人	0	0	0				
97	保育ボランティア養成	保育付き講座開催において、保育ボランティアの確保・養成のための講座を実施し、子育て支援者として、受講後の活動場所の確保、拡大に努めます。	保育ボランティアの養成とスキルアップも兼ねた講座を開催。子育て支援センターの見学や公民館保育の歴史、応急手当を学び実践に役立つ内容だった。	継続	保育付き講座の保育体制を考慮しながら、養成講座かスキルアップ講座かを検討。ボランティアの活躍の機会創出も進めていく。	講座開催回数	回	1	2	2	各公民館
			ボランティア育成数	人	7	3	6				
98	子どもを見守り支えあう地域づくり	地域で子どもたちを見守り育てる環境を形成するため、町会や地域団体と連携して乳幼児をもつ親子や地域の人が交流できる場づくりに努めます。	コロナ禍の影響で町会館を借用しての実施は見送った。水間客殿と公民館保育室で実施したが、参加者は少なかった。	継続	参加者が増えない理由や内容の見直しなど開催に向けて検討する。	実施回数	回	5	0	10	各公民館
			参加人数(延べ)	人	46	0	26				
99	子ども食堂支援事業	食事の提供等を通じて子どもや保護者の居場所づくりを行い、地域ぐるみで子どもを見守る活動に対して支援を行います。	補助金を支給し、市民や企業からの食材提供の仲介を行った。また、フードドライブにいたり、子ども食堂へ食材等の配布を行い、活動を支援した。	継続	開設相談、食材支援や情報提供などを実施しながら、地域で活動する子ども食堂を支援していく。	開催件数	件	45	53	90	子ども相談課

【3】子育てに関するネットワークづくりの充実

No.	事業名	事業内容	令和4年度の取組と評価	令和5年度以降の方向性や課題		単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	担当課	
100	貝塚子育てネットワークの会との共催事業	仲間とともに学びながら子育てができる環境づくりを目指して、貝塚子育てネットワークの会と共催する事業を充実します。	子育てサークルの会員不足や委員不足もあるが、部会長や委員が主体的に進め充実した講座を実施できた。	継続	子育て世代の学びと居場所を提供し、地域でのつながりづくりを進める。様々な機会を利用して広報し、参加者を増やしていく。	共催講座開催回数	回	12	15	15	中央公民館
						レクリエーション実施回数	回	1	1	1	
101	子育てサークル、子育てネットワークづくり	子育てサークル、子育てネットワークの会からの相談に応じるとともに、自主運営を促し、共同作業、共同学習の中で親の社会性、子どもの育ち、地域での関係性を豊かに形成する支援を行います。	サークル体験会を行い、積極的に活動を盛り上げようとしている。また赤ちゃんルームの受講者やメンバーの声掛けで秋以降参加が増えた。	継続	親の仲間づくり、遊びを通じた子どもの成長促進の場として支援していく。	参加サークル数	サークル	4	4	4	各公民館
			就学前の親子を対象に「本好きのお母さん集まれ！」を開催した。コロナ禍で定員を縮小しての実施となったが、本の紹介などを通じ、母親同士交流することができた。	継続	母親同士のネットワークづくりにつながるよう、引き続き、本を通じた交流の場を設けていく。						